

桐生市立商業高等学校 (定時制) 学校評価一覧表① (平成31年度(令和元年度)版)

| 羅 針 盤 | | | 方 策 | 第1回点検・評価 | | | 第2回点検・評価 | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|---|--|--|----------|--|--|----------|--|---|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | | 自己評価 | 外部アンケート等 | 改善策 | 自己評価 | 外部アンケート等 | 改善策 | |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。 | 1 特色ある教育活動を行っていますか。 | ①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。 | <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる実態把握 生徒一人ひとりに対する声かけの徹底を図る。 地区定通制高校との連携強化 生徒会を中心とした企画・運営の指導と実践 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の97%、保護者の97%が楽しい学校生活を送っており、学校が好きだと回答している。取組を継続したい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の88%、保護者の91%が楽しい学校生活を送っており、学校が好きだと回答している。取組を継続したい。 | |
| | | ②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。 | | <ul style="list-style-type: none"> 「ふれあいの時間」における他学年との交流と、生徒一人ひとりに対する積極的な関わりを推進する。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の83%、保護者の91%が積極的に参加していると回答している。地区の体育大会に全員参加できるように支援したい。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の79%、保護者の81%が積極的に参加していると回答している。部活動や地区の体育大会に積極的に参加できるように支援したい。 |
| | | ③総合的な学習の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習の基礎・基本の定着のための授業内容及び指導法の改善を図る。 定期試験直前や試験中の家庭学習を促す指導を継続する。 単位の履修・修得の重要性を認識させ、不振科目をなくするための指導を各学期1回、全校集会等での場で行う。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の97%が主体的、積極的に取り組んだと回答している。今後も他学年との交流もできるように積極的に生徒と関わりたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の91%が主体的、積極的に取り組んだと回答している。今後生徒の取組を支援したい。 |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 | ④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた協働的な学習(学び合い学習)を毎時間実践する。 カウンセリングマインドに立った授業改善に努める。 ICTの活用を推進する。 アンケートによる実態把握 各種検定試験合格に向けた授業等を工夫する。 授業改善の推進と生徒の実態に応じた補講を実施する。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の86%、保護者の94%が分かりやすい授業が行われていると回答している。今後も生徒が生き生き学ぶ授業をめざし、生徒の発達段階に応じた授業づくりに努めたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の88%、保護者の88%が分かりやすい授業が行われていると回答している。今後も組織的な授業改善努めたい。 | |
| | | ⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。 | | <ul style="list-style-type: none"> 学習の基礎・基本の定着のための授業内容及び指導法の改善を図る。 定期試験直前や試験中の家庭学習を促す指導を継続する。 単位の履修・修得の重要性を認識させ、不振科目をなくするための指導を各学期1回、全校集会等での場で行う。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の86%が意欲的に取り組んでいると回答している。目標としている資格を取得し、さらに上位級に挑戦できるように支援したい。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の73%が意欲的に取り組んでいると回答している。生徒の実態把握と個に応じたきめ細やかな指導を指導を継続したい。 |
| | | ⑥定期テストや検定試験のために学習をする生徒の割合が70%以上である。 | | <ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せにおいて生徒に関する情報交換と共通理解を行い、情報の共有を図る。 充実した学校生活を送るための指導・支援を継続する。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の88%が学習していると回答している。昨年度より20%向上しているため、生徒の努力を評価したい。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の67%が学習していると回答している。第1回より22%と大幅に減少している。気持ちの緩みを修正させたい。 |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 4 組織的・継続的な指導を行っていますか。 | ⑦成績不振科目のある生徒の割合が10%未満である。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せにおいて生徒に関する情報交換と共通理解を行い、情報の共有を図る。 充実した学校生活を送るための指導・支援を継続する。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 1学期に成績不振科目をもつ生徒はいなかった。生徒の努力を讃えたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 3学期は全生徒が定期試験を受験できるように支援して、成績不振がないように努力させる。 | |
| | | ⑧職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。 | | <ul style="list-style-type: none"> 全職員で全生徒を指導する体制を継続する。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せに加え、生徒指導等に関する会議を毎週行い、情報共有と対応の迅速化を図る。 生徒、保護者ともに94%が適切であると回答し、本校の指導に理解を示している。生徒、保護者とも100%になるようにしたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 今後も組織的・継続的に生徒理解に努め、適切かつ迅速に対応する。 生徒の82%、保護者の88%が適切であると回答している。今後も本校の指導を理解してもらいながら指導にあたりたい。 |
| | | ⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。 | | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻届、早退届を活用し、家庭への迅速な連絡を徹底する。 養護教諭、SCを含む教育相談体制を確立させる。 アンケートによる実態把握 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートからは、自撃も受けていないと答えているが、発生防止や実態把握につとめる。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> いじめの防止と早期の発見のためにも生徒とのコミュニケーションを大切にす。 |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。 | ⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。 | <ul style="list-style-type: none"> LHR等を活用した系統的なキャリア教育を実践する。 就業の促進と就業経験を生かした進路指導を行う。 進路希望調査の実施と個に応じた指導を実践する。 全日制進路指導部やハローワークと連携し、進路資料等を有効に活用する。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 1学期の欠席率は4.0%、遅刻率は2.2%であった。家庭の協力があり欠席や遅刻が減少しているため、連携を継続したい。 生徒の97%がうまくいっていると回答している。生徒同士が、相互に尊重し共感的に理解し合う人間関係を育成する。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 1学期から2学期にかけての欠席率は6.7%、遅刻率は3.2%であり、遅刻率が昨年度より0.7%改善した。 生徒の91%がうまくいっていると回答している。生徒同士が、今後も相互に尊重し共感的に理解し合えるように支援する。 | |
| | | ⑪欠席率が10%以下、遅刻率が10%以下である。 | | <ul style="list-style-type: none"> P.T.A総会、保護者面談の案内・返事の確認を徹底する。 アンケートによる実態把握 在校生の活動状況や入検情報を閲覧しやすくする。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の97%が計画的な進路指導を行っているという回答している。系統的な進路指導を継続したい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の91%が計画的な進路指導を行っているという回答している。今後も効果的な進路ガイダンス等を実施していきたい。 |
| | | ⑫交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。 | | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の85%が参加しようと思っている。保護者への感謝と働きかけを継続したい。 We bページを毎月更新しながら閲覧の働きかけを行いたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の76%が積極的に取り組んでいると回答している。探究的な諸活動を通じて、自分自身が将来その解決に取り組みたいと考えるように支援する。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の82%が積極的に取り組んでいると回答している。取組を継続したい。 |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ⑬適性や希望などを生かした計画的な進路指導を行っているという回答する生徒の割合が70%以上である。 | | A | A | | A | A | | |
| | | ⑭進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合が70%以上である。 | | | | | | | | |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ⑮保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。 | | A | A | | A | A | | |
| | | ⑯We bページを学期に3回以上更新している。 | | | | | | | | |